

平成31年度 社会科 2学年 指導・評価計画

学期	題材名	教材名	評価の観点	評価規準	主な評価方法	主な評価基準 (おおむね満足できる B)
1	【第I部第3章】 世界の諸地域	○ オセアニア州	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 資料活用の技能 知識・理解	・オセアニア州に暮らす人々の生活のようすを的確に把握できる地理的事象を取りあげ、それをもとにしたテーマを設定してオセアニア州の地域的特色を理解する。	定期考査 授業課題 ワークシート 小レポート 発問 発表	・オセアニア州の大観的な学習を通して、基礎的・基本的な知識を習得し、主題追究学習により、各州の地域的特色を理解して、世界の諸地域についてのイメージを構成できる。
	【第II部第1章】 日本のすがた	○ 日本の位置 ○ 領土問題 ○ 地方区分	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 資料活用の技能 知識・理解	・地球儀や地図を活用し、我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域的特色と変化、地域区分などを取りあげ、日本の地域構成を大観する。	定期考査 授業課題 ワークシート 小レポート 発問 発表	・地球表面上における時差の存在、世界の中での日本の位置や広がり、日本国内のさまざまな地域区分の指標について、多面的・多角的に考察・判断し、その過程や結果を適切に表現することができる。
	【第II部第2章】 世界と比べた日本の地域的特色	○ 自然環境 ○ 人口 ○ 資源・産業 ○ 交通	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 資料活用の技能 知識・理解	・世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を取りあげ、我が国の国土の特色を、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結びつきの視点から大観する。	定期考査 授業課題 ワークシート 小レポート 発問 発表	・世界と比べた日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」の観点をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。
2	【第4章】 近世の日本	○ 織豊政権 ○ 幕藩体制 ○ 「四つの窓」 ○ 身分と産業 ○ 元禄文化 ○ 幕政の改革 ○ 化政文化	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 資料活用の技能 知識・理解	・江戸幕府の政治の特色について、その支配の下に大きな戦乱のない時期を迎えたことなど、中世から近世への転換のようすを、中世の武家政治との違いに着目して考察させ、自分の言葉で表現できるようにする。	定期考査 授業課題 ワークシート 小レポート 発問 発表	・本章の学習を通して、江戸幕府と藩による支配が確立していったことについての関心を高め、意欲的に追究し、江戸幕府の政治の特色をとらえるとともに、さまざまな文化遺産を尊重しようとしている。また、中世と近世の武家政治の違いやそれぞれ時代の特色を考え、自分の言葉で表現できる。
	【第II部第3章】 日本の諸地域	○ 九州地方 ○ 中国・四国地方 ○ 近畿地方 ○ 中部地方 ○ 関東地方 ○ 東北地方 ○ 北海道地方	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 資料活用の技能 知識・理解	・日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかの視点に注目して地域的特色をとらえる。	定期考査 授業課題 ワークシート 小レポート 発問 発表	・日本の諸地域の地域的特色を、七つの視点に注目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。
	【第II部第4章】 身近な地域の調査	○ テーマ決め ○ 調べる ○ まとめる ○ 発表	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 資料活用の技能 知識・理解	・身近な地域における諸事象を取りあげ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見出し、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養うとともに、市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身につける。	定期考査 授業課題 ワークシート 小レポート 発問 発表	・地図や景観写真、統計資料などを活用し、身近な地域に関する疑問をとらえることができる。
3	【第5章】開国と近代日本の歩み	○ 市民革命 ○ 産業革命 ○ 倒幕へ ○ 明治維新 ○ 中央集権化 ○ 文明開化 ○ 自由民権 ○ 憲法発布 ○ 日清・日露戦争 ○ 近代文化	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 資料活用の技能 知識・理解	・欧米諸国のアジア進出と関連づけて取り扱い、幕府が対外政策を転換して開国したことと、その政治的及び社会的な影響を理解させ、それが明治維新の動きを生み出したことに気づく。 ・富国強兵・殖産興業政策の下、製糸業、紡績業や鉄鋼業などの近代産業が日清戦争前後から飛躍的に発展して、資本主義経済の基礎が固まったことに気づく。	定期考査 授業課題 ワークシート 小レポート 発問 発表	・本章の学習を通して、欧米諸国における近代社会の成立とアジアへの進出などについての関心を高め、意欲的に追究して近代の特色をとらえようとしている。また、欧米諸国における近代化についての関心を高め、近代という時代の特色を考えて、自分の言葉で表現できる。 ・本章の学習を通して、我が国の産業革命とこの時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などについての関心を高め、意欲的に追究し、近代の特色をとらえようとしている。また、身近な地域の近代化遺産や鉄道開通時のようすを意欲的に調べて、近代の産業の特色をとらえることができる。